

キラットさん

BE AMBITIOUS

月居服装専門学校
専門過程 1年

あき 子 さん
日 景 昭

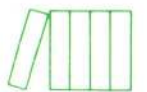


二月九日(服の日)に東京で、第十三回全国服飾学校ファッション画コンクールの受賞式が行われました。受賞式に出席した日景さんは、自分が優秀賞をとったことがまだ信じられなかったそうです。本人に受賞の知らせがあったのは、前日のこと。気持ちの整理のつかないまま東京に向かったそうです。コンクールには三年連続で出品しており、過去二年は入選でした。今回の受賞作品については「和服と洋服を組み合わせることで面白いものになると思いました」と話してくれました。作品は、上が着物で下がスカートのようなもので、色も蛍光色を使ったりと、とても

カラフルでした。指導に当たっている先生も「日景さんは、大変なことでもいつも笑顔でこなします。目のつけ所が違い、だれも思いつかないことを表現できます」とその才能を認めていました。

高等過程三年間の思い出を聞きましたら、「学校での一年間の成果をみせるファッションショーが一番の思い出です。特に三年生の今年は、ショーの運営も担当し、自分の思い通りに進めることができました。また、衣装の仕上げも先生の協力で、何とか間に合い、感謝しています」と話す声にも、実感がこもっていました。今後は、同校の専門課程へ進みます。最終的な進路については「服に関する仕事に就きたいのですが、具体的には、まだ迷っていて、専門過程の二年間で結論を出したいです」とこれからの二年間は貴重な時間になりそうです。

日景さんによると、いつもは、ポーツとしていて、何か目的を見つけると、のめりこむタイプだそうです。そのため、作品はひらめいたら、すぐに形にしてみるそうです。じっくり考えるより、ひらめきで作ったほうが良い作品ができるという天才肌です。卒業後も大館に住みたいという日景さんです。ファッション界に国境はありません。大館在住のファッションデザイナーとして活躍することを期待します。



私の本棚

中央図書館新着図書



『アユとビビ』
京おんなのバリ島

大村 しげ 著
新潮社

海外旅行の誘いを断り通してきた「おしげさん」が、祇園ばやしに似たガムラン音楽に心ひかれ、南の島へ旅立つて十五年。可愛いバリ娘アユと、ビビさんと呼ばれる八十歳の生粋の京おんなしげさんの、楽しいこと、珍しいこと、食べ物のことなど、バリ島ウブッド村暮らし十二か月。

一般書

- ◇ハルモニア(篠田節子) ◇新説徳川慶喜(童門冬二) ◇獅子王アレクサンドロス(阿刀田高) ◇失跡(小杉健治) ◇敵(筒井康孝)
- ◇月光の東(宮本輝) ◇いつか海に消えゆく(北方謙三) ◇番茶も出花(橋田壽賀子) ◇風よヴェトナム(平岩弓枝) ◇秋田新幹線「こまち」殺人事件(西村京太郎) ◇故郷(水上勉) ◇調律の帝国(見沢知廉)
- ◇悪党(ロバート・B・パーカー) ◇くちづけ上・下(赤川次郎) ◇しのびよる月(逢坂剛) ◇智恵子飛ぶ(津村節子) ◇毎日がテレビの日(北川悦吏子) ◇詩歌と出会う時(大原富枝) ◇スケッチ集「街道をゆく」(安野光雅) ◇「家庭力」を育てよう(斎藤茂太) ◇読書人の点燈(谷沢永二) ◇地球の片隅の物語(曾野綾子) ◇気候変動21世紀の地球とその後(トーマス・E・グレイデルほか) ほか

児童書

- ◇おしげやれなサムとバターになったトラ(ジュリアス・レスター)
- ◇思いがけない贈り物(エヴァ・ヘラー) ◇かいぞくポケットアイコ(じゅもん(寺村輝夫) ◇ローラのおほしさま(クラウス・パウムガード) ◇ドッペル(荻原すなお) ◇アミスタッド(J・A・バインズ) ◇カイケツゾロリのきょうふの大ジャンプ(原ゆたか) ◇トロイの木馬のひみつ(大原興三郎) ほか

- ◇4月のテーマ関連図書コーナー・・・『ティータイム』
- ◇4月の読みかかせ会・・・3日(毎週第1金曜日) 14時30分から
- ◇4月の中央図書館の休館日・・・19日、23日、29日